

【朝礼資料 H24.9.27(木)】

「学びと変容」

1年で最も「成長する」時期になってきました。「成長する」というのは「変わる」ということです。そして「変容」は「学び」によってもたらされます。

陽明学では「知行合一」と唱え、貝原益軒は「生れて学ばざれば、生れざるに同じ。学んで知らざれば、学ばざるに同じ。知って行わざれば、知らざるに同じ。」と言っています。

今月は、多くの「学ぶ」機会が設定されています。何を学び、どう行動化していくのかが問われる月になります。学んだことを行動に移すという「変わること」に前向きでありたいと思います。

校長室に掲げてある湯川秀樹博士直筆の「学而不厭」のように「学び続けることを厭わない」生徒、教師でありたいと考えます。

○「学力向上研究推進指定校」としての公開研究に全校で取り組みます。

10月17日に指定校としての中間発表です！10月23日は東葛飾教育事務所長訪問です！

参観される多くの先生方に感動を与えよう！

・「意欲的な学習」

授業前着席し、学習準備ができるようにしたい。発表の時は、みんなに聞こえる声で自分の考えを堂々と発表したい。分からない時は「教えて！どうして？何で？こういうこと？」と分かるまで聞きたい。聞かれたら相手が納得するまで工夫して説明し、学び直したい。自力解決の時や自習時間は、写本の時間のように黙々と取り組みたい。

・「笑顔の挨拶」

学校を訪れた人が、また来校したくなるような挨拶が交わされる「伝説の学校」にしたい。挨拶は、単なるコミュニケーションツールではなく、「もてなし」の心を表現する大切なもの。

・「感激の清掃」

そこを使う人が、思わず汚してしまうのをためらい、進んでゴミを拾い、汚れを落としていくような、人を感動させる清掃活動にしたい。清掃が終わったばかりの状態での次の日が迎えられるような、さわやかな環境を維持する清掃活動にしたい。その場所をきれいにするだけの清掃ではなく、使う人の心を動かす魂の清掃活動が展開される「伝説の学校」をつくりたい。

・「落ち着いた環境」

教室にいるとホッとする。安心感のある落ち着いた教室環境をつくりたい。掲示物が積み重ねられ、タイムリーな情報が貼られ、自分たちの活動の足跡が見える環境にしたい。

<指定校研究テーマ>

「自主的に課題解決できる生徒の育成」～全員ができる・わかる授業づくりを通して～

- ・授業を講義式の聴いているだけの授業から課題解決型の考える授業にしよう！
- ・グループ学習を工夫し、学び合う関係（「教えて」「いいよ」）を築いていこう！
- ・家庭学習を習慣化し、自分から2時間、学習に向き合うことに全校で取り組もう！

※「もてなし」…「以て成す」の意味

「学級で生活する私たちの姿を以て、来校される方々の笑顔を成す」

※学校は、「進んで親切の手を差し伸べ、仲良く助け合って生きることを学ぶ場所」である！